アレスティング・ワイヤーのテストを実施

Catching Yellow Jackets

June 10, 2016

Original text by Senior Airman David C. Danford and Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地で6月３日、米海軍・第138電子飛行隊所属のEA−18Gグラウラーによるアレスティング・ワイヤーのテストが行われた。

アレスティング・ワイヤーとは、滑走路上に飛行機の進行方向に横向きに張られたワイヤーで、飛行機に装備されたフックに引っ掛けることで急激に減速し、短距離で停止させるもの。正常に牽引する力を確かめるテストは、年に1度行われている。

（写真1）滑走路上に張られたアレスティング・ワイヤーを機体のフックに引っかけて急停止するEA−18Gグラウラー。フックを正確にワイヤーに引っかけて着陸するには高度な操縦技術が必要とされる。

(Photo by Yasuo Osakabe) 1

（写真2）EA−18Gの機体尾部下方に取り付けられた制動用拘束フックを確認する第138電子飛行隊の海兵。

(Photo by Yasuo Osakabe) 2

（写真3）アレスティング・ワイヤーのテストに伴い、横田基地第374施設中隊発電部と消防署、第374運用支援中隊飛行管制小隊は航空機緊急着陸を想定した即応訓練を行った。

(Photo by Senior Airman David C. Danford) 3